

平成20年1月31日
水産庁

水産物の市況について（平成20年1月及び2月）

—東京都中央卸売市場における平成20年1月（平成19年12月21日～平成20年1月20日集計）の市況と、
2月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成20年1月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べ減少となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや強含みに推移しました。

II 平成20年2月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれるものの例年より水揚げが少なく供給不足感が解消されないため、卸売価格ははやや強含みに推移すると見込まれます。（各地とも漁は低調）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物のチリ銀の入荷が本番に入りつつあり前月よりやや増加すると見込まれるものの、その他については端境期であることから全体的に見ると卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月よりやや減少すると見込まれ、卸売価格ははやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は北部太平洋海域、駿河湾から伊豆諸島周辺、東シナ海周辺、済州島周辺、対馬周辺海域、山陰沿岸、新潟沖合）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月よりやや増加と見込まれ、卸売価格ははやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は日本海側は山陰沿岸・九州近海、太平洋側では北海道津軽海峡付近及び三陸沿岸）

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月よりやや増加と見込まれ、卸売価格ははやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸、新潟県沿岸、九州西沖、犬吠埼～房総沿岸）

「まぐろ（冷凍品）」

前月市場開設日数が少なかったことから入荷量は前月よりやや増加すると見込まれるものの、供給増といった感じではなく卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	1 月		前 月		前々月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
20年	49	980	59	918	56	842
前年	53	969	58	923	57	850

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2: 入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	1 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	763	91	128	92
さけ・ます(平均)	598	92	96	103
(ぎんざけ塩蔵品)	672	100	98	107
(あきさけ塩蔵品)	516	100	125	174
(ときさけ塩蔵品)	834	100	114	113
(べにざけ塩蔵品)	1,033	100	109	124
(さけ類冷凍品)	557	98	94	104
さば(生鮮品)	565	122	134	105
するめいか(平均)	466	140	97	97
(生鮮品)	487	145	96	93
(冷凍品)	315	102	89	97
あじ(生鮮品)	540	96	95	82
まぐろ(冷凍品)	1,474	99	107	107
(めばち冷凍品)	902	97	98	102
(きはだ冷凍品)	702	98	87	110
(くろまぐろ冷凍品)	3,932	102	127	142
(みなみまぐろ冷凍品)	2,783	94	118	145

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2: 1月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成15年~19年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先: 水産庁加工流通課調整班
 代表 03-3502-8111
 内線 6616 山尾、嶋田
 直通 03-6744-2350